



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年5月17日
第7号

今月末28日（火）に予定されている黒部市小学校連合体育大会に向け、5・6年生が練習を続けています。特に放課後は、種目別に分かれてハードル走や選手種目の練習をじっくり行っています。他学年の担任も皆、担当種目を決めて分担して指導に当たっています。

とりわけ全員が出場するハードル走は、運動があまり得意ではない様子の子もいますが、練習を重ねるうちにそれなりに自信をもって動けるようになってきました。皆で声を掛け合ったり、最後の整理運動（クールダウン）までいっしょに取り組んだりする中で、苦手意識も少しずつ薄らいできているように見えます。

本番まであと10日あまり。前向きな気持ちで練習を重ね、自分の成長につなげてほしいと思います。



伝統の3Kについて考えること その3「元気でやりぬく子」

目指す子供の姿			地域と学校の教育目標
3K	2K	1K	
体 元 気 で や り ぬ く 子 健 康 ・ 快 活 ・ 根 気	知 よ く 考 え る 子 向 上 ・ 工 夫 ・ 継 続	徳 助 け 合 う 子 協 力 ・ 勤 労 ・ 感 謝	地域に学び、個性豊かにたくましく 自ら学び行動する子供を育てる

「3K：元気でやりぬく子」には新たに「快活」を加えました。校長室の資料を見ると、「快活」が3Kに盛り込まれていた時代が過去にもあったようです。この言葉は気持ちよく生き生きとしている、という意味ですが、まずは「多少のことにはへこたれず、まあいいか、なんとかなるさ、と前を向く」ことができればよいと思います。

3Kは「早寝・早起き・朝ご飯」といった身体の健康をイメージすることが多いかと思いますが、心の強さ・心の健康といった面も大切にしながら、一人一人の子供の成長を目指していきたいと考えます。

★安心して失敗できる経験の積み重ねが、「やりぬく力」につながります

さて、校内を回って日頃の子供たちの様子を見てみると、間違いをひどく恐れたり、失敗したことでずっと落ち込み立ち直るのにかなり時間がかかったりする子がいます。小プリントで何問か間違える、分からない、といったときに「もうだめだ」「最悪」「お母さんに叱られる」などと言って泣いたり怒ったり…。大人にとってはちょっとしたことに思えることも、当人にとっては「立つ瀬がなくなる」ような大問題なのでしょう。ただ、悔しがる気

持ちも大切ですが、ショックを受けすぎてなかなか前に進めないのはちょっともったいないような気がします。

こうした子供の姿を見ていると、「元気でやりぬく子」へと育つためには、逆に、日頃から安心して何度でも失敗できることが必要なのだろうと考えます。人は小さい失敗を繰り返す中で失敗への耐性を身に付け、その失敗から自分なりに何かを学び取って前に進んでいくものです。そういった経験が、とりわけ子供の時期にこそ必要なのではないでしょうか。そのような経験を少しずつ積み重ねることで、しなやかでたくましい心の強さが育ち、いつしか自分の決めた目標に向かって根気強く挑戦を続ける人間へと成長していけるはずですよ。

一方、そのためには大人にも、子供の小さな失敗をおおらかに受け止める度量が求められます。目についたことに細々と口を出したくなる気持ちは少し抑えて、子供自身がそこから何を学ぶか、その姿を長い目でしっかりと見守っていくのがよいのではないのでしょうか。とはいえ、これはなかなか難しいことかもしれないですね。皆さんのお考えを聞いてみたいなあとも思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

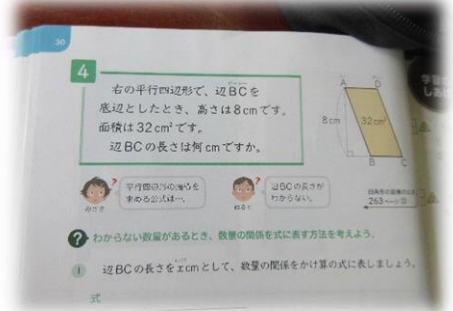
今週もさまざまな出前授業や体験学習に取り組みました

魚津法人会青年部の方による「租税教室（6年生対象）」、田中歯科医さんを講師に本校でもう40年近くも続いている「親子歯磨き教室（1年生親子対象）」、能澤喬之さんとJAの方に教わる「田植え体験（5年生対象）」等、今週もさまざまな取組がありました。関係する講師及び指導者の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。



シリーズ「教室におじゃまします」 5/15(水)6年算数科の巻

「文字と式」の学習も今週末に単元末のテストを予定しているとのこと、この日の学習はまとめ・確かめの段階に入っていました。まず、平行四辺形の面積からめた文章題について考えます。高さが8cm、面積が32㎡のときの底辺の長さを求めます。石井先生は「分からない数（求めたい数）をx(イクス)とする」ということを確認し、平行四辺形の公式に「分かっている数字や文字」を当てはめるよう助言しました。



算数に自信がない子もいるようでしたが、先生にヒントをもらいながら座席の順に少しずつ答えていくことで、安心して自分の考えていることを口に出していました。

$$\begin{aligned}
 x \text{ (イクス)} \times 8 &= 32 \\
 x &= 32 \div 8 \\
 x &= 4
 \end{aligned}$$

ここで、「=」を縦に揃えて計算を書くように、というポイントも確認しました。

今日の学習から「分からない数をxなどの文字を使って表せば、数量の関係を式に表すことができる」というまとめが導き出されました。子供たちは終始真面目にノートに内容を記録していました。

残りの時間は次のページの「たしかめよう」の問題に取りかかりました。ここでは先生のところに並んだり、友達同士で集まったりして分からないところをじっくり考える姿が見られました。金曜日のテストも頑張ってください。



<おまけのひとりごと> 1年生の親子を対象にした歯磨き教室は昭和60年から続く取組であるとのこと。当時の学校歯科医は現在の田中慎二先生のお父様である直次先生で、金山盛雄校長先生(当時)からの強い依頼により始まったそうです。その金山校長先生の座右の銘は「継続は力なり」とのことで、校長室には今も金山先生の揮毫による「継続は力なり」の書が飾られています。歯磨き教室の合間に校長室に入られた慎二先生の熱い語り引き込まれ、私は改めて「継続は力なり」の書をしっかりと見つめ直しました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ()